

ふれあい交流 あおぞら

第 22 号
宮久保・下貝塚

人口動態
人 口 17,353 人
世帯数 7,981 世帯
高齢化率 26.2%
(令和 6. 3. 31 現在)

支えあい・助け合い お互い様の声が行きかう街を目指し

「市川市社会福祉協議会」の基本理念は、安心して生き育て、安心して老いを迎える事ができる“福祉のふるさと”を目指す事です。宮久保・下貝塚地区社協も、この基本理念の下“寄り合い処”を拠点として、令和6年度の地域福祉活動を開始しております。新しい企画で取り入れた“地域福祉活動”も、おかげさまで根付いてきました。

今年からは「第5期わかちあいプラン・宮久保下貝塚」がスタートしました。支えあい・助け合いの心を大切に、安心して暮らせる“街作り”を、皆様と共に進めていきたいと思っております。「地区社協・寄り合い処」は相談員が常時おりますので、ぜひ気軽にお立ち寄りください。



相談員会議の様子

宮久保・下貝塚地区社会福祉協議会
会 長 有 坂 利 男

“寄り合い処”のご案内

お知らせ:8月16日～19日お休みです

“寄り合い処”は、市川市地域ケアシステムの推進母体の一つである「宮久保・下貝塚地区社会福祉協議会」の活動拠点です。皆様の多様なご相談に応えられる体制作り日々努めております。
お気軽にお立ち寄りください!

開所:月～金 午前10時～午後4時 祝日はお休みです
相談員総勢18名 1日2名体制で対応しています

活動内容

- ① 相談内容により、行政や社協、関係機関と連携
- ② 車椅子の貸し出し
- ③ 各種催しのお手伝い
- ④ 世間話や雑談で立ち寄った方々と交流
- ⑤ 血圧計を設置しました



**加えて! 開所日2時から約30分健康体操やっています。
みなさまの参加お待ちしております**

専門職(社会福祉士や看護師など)による出張相談を開催

高齢者サポートセンター宮久保・下貝塚

毎月第3木曜日 午前11時～12時
介護の相談は勿論ですが、
ちょっとした困りごとを
お聞かせください。



CSW(コミュニティーソーシャルワーカー)

毎月第1水曜日 午前10時～12時
暮らしのなかでの困りごとや
心配ごとをお聞かせください。
※9月よりスタートします!



編 集
発 行

宮久保・下貝塚地区社会福祉協議会
市川市宮久保1-13-2(宮久保・下貝塚寄り合い処)
☎ 047(372)8348 月～金 10:00～16:00



令和6年5月19日(日)宮久保自治会館で4年ぶりに定期総会を開催し、すべての議案が賛成多数で承認されました。

令和5年度決算報告(単位:円)
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

収 入

科 目	予算額	決算額	内 容
市社協助成金	450,000	416,779	市社協会費の40%
市社協事業助成金	200,000	200,000	市社協より事業助成金
サロン助成金	117,000	120,000	市・社協サロン助成 (4カ所)
参加費収入	10,000	81,950	サロン参加費、花部売
雑収入	1,000	4	利息
繰越金	683,642	683,642	前年度繰越金
合 計	1,461,642	1,502,375	

支 出

科 目	予算額	決算額	内 容
会議費	30,000	846	各会議費、お茶代
福祉対策費	780,000	434,026	各事業(4事業)
サロン活動費	155,000	177,507	各サロン運営費
地域ケアシステム費	30,000	51,691	寄り合い処運営費
研修費	50,000	10,000	各種研修費
会場使用料	50,000	15,000	自治会館使用料
事務費	70,000	31,593	事務用品広報紙代
通信費	30,000	3,780	郵送料
慶弔費	10,000	21,000	慶弔費
備品費	100,000	0	備品費
合 計	1,305,000	745,443	

令和6年度予算(単位:円)
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収 入

科 目	本年度予算額	内 容
市社協助成金	450,000	市社協会費の40%
市社協事業助成金	200,000	市社協より事業助成金
サロン助成金	120,000	市・社協サロン助成 (4カ所)
参加費収入	10,000	サロン参加費等
雑収入	1,000	利息等
繰越金	756,932	前年度繰越金
合 計	1,537,932	

支 出

科 目	本年度予算額	内 容
会議費	30,000	各会議費
福祉対策費	720,000	各事業(6事業)
サロン活動費	190,000	各サロン運営費
地域ケアシステム費	60,000	寄り合い処運営費
研修費	50,000	各種研修費
会場使用料	30,000	自治会館使用料
事務費	70,000	事務用品広報紙代
通信費	10,000	郵送料
慶弔費	30,000	慶弔費
備品費	100,000	備品費
合 計	1,290,000	

令和6年度 宮久保・下貝塚地区社会福祉協議会 役員

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	有坂 利男	副会長	湯田 豊彦	副会長	高橋 英三	副会長	後藤 久子
会 計	塚越 てい子	会 計	大橋 圭太郎	書 記	菅原 紀子	書 記	福田 安秀
書 記	松本 由美子						

NEWS 最新ニュース

**下貝塚地区で【移動販売】が
スタートしました！
ぜひお立ち寄りください。**



買い物に不便を感じていた下貝塚3丁目（一部下貝塚1・2丁目、宮久保5・6丁目含む）を中心とした方々に対し、「スーパーダイエー」の協力を頂き、移動販売がスタートしました。地域交流の場としても喜ばれております。



**80歳を迎える方へ
傘寿のお祝い品をお届けします**

宮久保・下貝塚地区にお住まいの満80歳になられた方（今年度は1944年（昭和19年）に誕生された方）を対象にお祝いの品をお届けします。ご希望される方は、下記の【寄り合い処】までお申し込みください。宮久保・下貝塚地区社会福祉協議会の福祉委員が敬老の日前後にお届けいたします。

申込み「寄り合い処」
電話・FAX（047-372-8348）・
来所のいずれかでお申し込みください。

氏名、住所、生年月日、
連絡先をお知らせください。

※締切り 8月20日（火）
午後4時まで



宮久保・下貝塚地区高齢者の身近な相談窓口

高齢者サポートセンター宮久保・下貝塚

TEL 047-373-0763

開所日時：月～金 8：45～17：15（旧大野中央病院建物3F）

高齢者サポートセンターでは健康や介護や認知症の相談など、様々な面から支援を行います。今後の予定についてご案内します。

7/26（金）認知症勉強会（サロンすぎな）

9/18（水）家族介護教室「高齢者の住まい かしこいホームの選び方」

※毎月第3木曜日 11時～12時 出張相談会を行っています（寄り合い処）

※今後の活動については「市広報」や「掲示板」をご覧ください。

4月より、宮久保・下貝塚地区の認知症地域支援推進員は、田中寿子から湯浅八千代へ変更になりました。生活支援コーディネーターも兼務になります。どうぞよろしくお願い致します。生活支援コーディネーターとは、高齢者の方の日常生活におけるちょっとした困りごとを解決する方法を一緒に考えたり、身近な居場所や通いの場を紹介します。

皆様が安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいますので、お気軽にお声がけ下さい。

■認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター 湯浅

TEL070-3364-1191



地域ふれあい情報

誰もが参加でき、楽しくふれあい、多くの方との交流を通して、健康で長生きとみんなで支え合う地域をつくるためにいろいろな取り組みを進めています。

今年もやります「あいさつ運動」

平成30年9月から開始した「あいさつ運動」も、はや6年目を迎え、引き続き毎月第1月曜日に実施しております。地域に密着した運動として途切れることなく、進めてまいります。地域の皆様のご参加をお待ちしております。



グランドゴルフ大会

6月15日(土)午前9時から宮久保小学校の校庭でグランドゴルフ大会が開催されました。雨の予報から一転晴れ渡る空のもとお子さんを含め総勢53名の若若男女の方々が集まって競技を楽しみながら頑張りました。参加者全員分の賞品も用意されていて最後まで笑顔のあふれる素敵な大会になりました。



手芸ふれあいサロン

毎月1回 第2木曜日 10時～11時半
宮久保自治会館で開催しています

- 9月 ぶどう型ブローチ
- 10月 革小物
- 11月 ポーチ
- 12月 写真立て



サロン“すぎな”

毎月1回 第4金曜日 10時～11時半
下貝塚自治会館にて開催しています

- 7月26日 認知症の基礎知識勉強会
- 8月はお休み
- 9月から、月替わりで
- *民話と落語
- *花の即売 *ギター演奏
- 等開催してまいります。



びよびよクラブ下貝塚

毎月1回 第3月曜日 10時～11時半
下貝塚自治会館にて開催しています。



びよびよクラブ下貝塚の様子♡

びよびよクラブ宮久保

毎月1回 第4月曜日 10時～11時半
宮久保自治会館にて開催しています。



びよびよクラブ宮久保の様子♪

“つぶやき”

家紋……皆さんは自家の家紋をご存知でしょうか？家紋の種類は5,116種類あると言われていたのですが、まとめると241種類になるそうです。家紋文化は、日本が世界に誇れる伝統文化のひとつです。子や孫に語り継ぎ、大切な場面には、家紋入りの着物で参加する伝統を守って貰いたいです。(菅原相談員)

